

カトリック河原町教会だより

2024年7・8月

教皇フランシスコ 第4回「祖父母と高齢者のための世界祈願日」教皇メッセージ（抜粋）

「老いの日にもわたしを捨て去らないでください」（詩編 71・9 参照）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

神は決してご自分の子らを見捨てません。齢（よわい）を重ね力が衰えようと、髪が白くなって社会での役割が少なくなろうとも、活動の生産性が下がって無駄として見られかねないとしても、そうなのです。神は外見には目をお向けにならず（サムエル上 16・7 参照）、多くの人には大したことはないと映る人を選ぶことに躊躇しません。神はどんな石も捨てません。それどころか、もっとも「古くなった」石が、「新しい」石の乗る確かな土台となることで、霊的な家とともに建てるのです（一ペトロ 2・5 参照）。詩編は、取るに足りないわたしたちを顧みてくださる神を前にした、人間の心にわく驚きに満ちています（詩編 144・3-4 参照）。つまり聖書の中には、人生のどの年代においても神が近くにいてくださるという確信と、そしてまた老年期や苦しいときに強まる見捨てられることへの恐怖との、両方が見いだせるのです。ここに矛盾はありません。周囲を見渡せば、これらのことばが現実をありありと映し出していることがすぐに分かります。わたしたち高齢者、また祖父や祖母の生活には、いやでも孤独がついて回ります。わたしがブエノスアイレスの司教であったとき、老人ホームを訪問する機会がしばしばあり、ホームの人たちにはほとんど面会が来ないことを知りました。何か月も家族と会っていない人もいました。ひとたび個人個人の価値が見失われると、人間はただのコストと化し、場合によっては割に合わないとみなされてしまうのです。さらに悪いことに、高齢者自身がこうした考え方に支配されてしまうこともしばしばで、自分たちは重荷なのだと考えてしまい、率先して身を引くべきだと感じるようになるのです。けれども歳を取り、次第に力が衰えていけば、だれも必要ではない、人とのつながりなしに生きていける、という個人主義の幻想は、その実態を露呈することとなるのです。まさに、自分には何もかもが必要になっていると気づいても、もはや独りとなっていて、助けもなく、頼れる人もいないのです。メシアであるイエスこそが、インマヌエル、「わたしたちとともにいる神」であり、あらゆる境遇、あらゆる年齢の、すべての人に、神の近しさと寄り添いをもたらすかたなのです。この第4回祖父母と高齢者のための世界祈願日には、祖父母や高齢の家族に、優しい愛を示しましょう。切り捨てや孤独につながる自己中心的な態度に抗し、「わたしはあなたを見捨てません」と臆することなくいって別の道を歩む人の、開かれた心と喜びの顔を示しましょう。

親愛なるすべての祖父母と高齢者の皆さん、そして皆さんに寄り添うかたがたに、祈りとともに祝福を送ります。



教会の様子(インスタグラムより)



聖母被昇天

シスターテッシー

8月15日、世界中のカトリック教徒は、マリアが地上生活を終えて天に召されたことを記念して、マリアの被昇天を厳粛に祝います。マリアの被昇天は、肉体と魂の両方の復活に対するカトリックの信仰を強調するものです。聖母被昇天の語源はラテン語の「*assumptiō* で、天に召される」という意味です。

マリアが身も心も天に召されたのですから、被昇天祭は喜びの日です。神の母、神の子の母は私たちの母です。イエスは弟子に、そして私たち皆に「見よ、あなたがたの母よ」と言われた時、マリアを私たちの母とされたのです。

聖母マリアの被昇天は、イエスを信じ、彼に信頼を置くすべての人に永遠の命を与えるというイエスの約束に関するものです。マリアの天への被昇天は、キリストのわざによって成し遂げられたすべてのことのしるしです。マリアにおいて、私たちは肉体の復活と約束された新しい創造を証しするのです。マリアの被昇天は、すべての信者の最終的な復活を保証するものです。教会は「今とまだ」の共同体です。マリアは「今」を可視化します。被昇天において、マリアは御国の充滿を志向し、マリアのあらゆる部分が父、子、聖霊の三位一体の神と一つに結ばれています。

教皇フランシスコは、こう言われます。「マリアの被昇天は、私たち一人ひとりに関わる大いなる神秘であり、私たちの未来に関わるものです。実際、マリアは私たちに先立って天国への道を歩んでおられ、洗礼を通して、マリアがイエスに命を結ばれたように、私たちもイエスに命を結ばれているのです。この祭日は、「新しい天と新しい地」を、復活したキリストが死に勝利し、邪悪な者を決定的に打ち負かすことを予告するものです。」マリアは、私たち皆と同じように、信仰の喜び、不安、暗闇を経験しました。マリアは、カルバリーに向かう息子の後を追う悲しみの女性でした。私たちは皆、人生で果たすべき使命があり、苦しみはその一部であることを学ぶべきです。私たちはマリアの幸福にあずかり、私たちが旅を続ける間、彼女の栄光ある息子とともに私たちのためにとりなしてくださるようお願いするのです。天に召され、宇宙の女王であるマリア、永遠の神の聖母、あなたの祈りによって私たちのために平和と救いを得させて下さい。



パウロ大塚喜直司教様霊名のお祝いとチェジュ教区交流感謝ミサ

6月30日 10:30 からパウロ大塚喜直司教様の霊名のお祝い（6月29日 聖パウロ使徒）とチェジュ教区交流感謝ミサが大塚司教様、ホ・ジュンヒョク神父様、ソル・ギョビン神父様、ホン神父様(山城ブロック)、イ神父様(京都南部地区協力)による共同司式により和やかな雰囲気の中に執り行われました。



シスターテッシー霊名のお祝い集会祭儀

7月27日 18:30 の集会祭儀の中でシスターテッシーの霊名(7月26日聖アンナの祝日)のお祝いが和やかな雰囲気の中、行われました。



京都南部地区合同堅信式

6月16日 14:00 から大塚喜直司教様の主司式により京都南部地区合同堅信式が執り行われ、河原町教会からは6名が堅信を受けました。



河原町教会 あれこれ



カトリック会館地下 1F 集会室 B2

教会前を鉾が行く

ウィリアム神父 離日



英語で洗礼式(ナン神父)



英語で2組合同洗礼式(菅原神父)



パイプオルガンコンサート盛況

2024年8月～10月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
8	4	日	[年間第18主日]
	6	火	主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
	8-10	木-土	土曜学校錬成会
	10	土	第17回戦争と平和写真展
	11	日	[年間第19主日] 第17回戦争と平和写真展
	15	木	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
	18	日	[年間第20主日]
	25	日	[年間第21主日]
9	1	日	[年間第22主日] すべてのいのちを守るための月間(～10月4日) 被造物を大切にす世界祈願日
	8	日	[年間第23主日]
	14	土	十字架称賛
	15	日	[年間第24主日] 祖父母と高齢者のための世界祈願日 敬老感謝祈願ミサ 10:30 ミサ後懇親会
	22	日	[年間第25主日]
10	29	日	[年間第26主日] 世界難民移住移動者の日(献金)
	6	日	[年間第27主日] 10:00 ロザリオの祈り
	13	日	[年間第28主日] 10:00 ロザリオの祈り
	20	日	[年間第29主日] 10:00 ロザリオの祈り 世界宣教の日(献金)
	27	日	[年間第30主日] 10:00 ロザリオの祈り



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日も有り)

(聖体顕示式以外は8月は休講)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

「キリスト教とは何か」

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教の輪郭」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシー
のチーム)「こころにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

遠藤周作「キリストの誕生」

読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

聖書通読会

木曜日 11:00(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

聖体顕示式

第3土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「マルコ福音書」を読む

第2日曜日 11:40(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方
向け」は事務室かrakuto.nyumon.class@gmail.co
m まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2024.7・8 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>